

次世代骨材生産機「アストロGSミル」

浜口正記・皆川耕児

機械事業部・破碎機部

当社はセメント仕上粉砕用として多数の実績を誇るOKミルの粉砕技術をベースに、砕砂とコンクリート用砕石2005の生産に最適な破碎機「アストロGSミル」を開発した。

100mm程度の二次破碎物より、直接“砕砂”と“2005”の同時生産が可能で、従来の三次破碎機・粒形補正機・製砂機の3役をGSミル1台に集約し砕石プラントの大幅な簡略化を図ることができる。また、20mm以下の余剰品から砕砂を大量に生産することも可能である。代表モデル機の能力を第1表に、その外観を写真1に示す。

特徴

- 1) 優れた製品粒形
 - 砕砂粒形判定実積率：56～58%
 - 2005粒形判定実積率：60%以上
- 2) 製品粒度調整が可能
 - 砕砂FM値調整に加え砕砂と2005の生産比率の調整が操作盤での運転条件変更により容易におこなえる。
- 3) 高水分含有原料にも対応
- 4) 大容量化に対応
- 5) 低騒音・低振動

第1表 GSミル能力表

ミルサイズ	最大投入塊寸法 mm	最大処理能力 t/h
GS1300	40×55×80	180
GS1500	45×65×80	260
GS1800	55×88×110	400



写真1 アストロGS1800外観

問い合わせ先：機械事業部 破碎機部 TEL (0794) 45-7744 FAX (0794) 45-7753

低圧・大容量新型無給油式スクリュ圧縮機「EXシリーズ」

浜川久男

機械事業部・回転機技術部

無給油式スクリュ圧縮機がもっとも多く適用される石油化学系などのプロセスガス圧縮機において、以下のコンセプトに基づく圧縮機本体や付属システムの簡素化と小形化により、競争力のある圧縮機「EXシリーズ」を十分な所内試運転による品質確認をおこなった後に市販を開始した(写真1)。

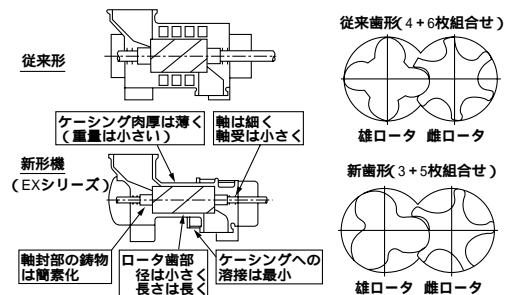
用途特定による仕様の明確化 無駄を省いた設計

- 高速化 従来機より小さい形式の採用
 - 簡素な鋳物構造 鋳物メーカーの技術の影響を最小
 - 軸封システムの簡素化 補機ユニットのコストを最小
 - 必要潤滑油量の低減 潤滑油ユニットのコストを最小
- 仕様(要求規格からのDeviation)は従来機と同等
 現有機と同等以上の性能維持

ロータ歯形には、用途に適した“雄ロータ3枚+雌ロータ5枚”の新歯形(従来組合せ4+6)を当社独自で開発し、1サイズ小さいロータ径にて、従来機の容量が処理可能となった。第1表に仕様例を、第1図に従来機との構造比較を示す。

第1表 KS50EXの仕様例

項目	仕様	従来機
ロータ径	mm	約540
ロータ長	mm	約1080(長径比L/D=2.0)
最高回転数	rpm	5880(ロータ周速=167m/s,世界最高速)
最高理論行程体積	m ³ /h	約60000
最高吐出圧力	kg/cm ² G	3.5



第1図 構造比較

写真1 KS50EXの外観



問い合わせ先：機械事業部 圧縮機センター回転機技術部 TEL (0794) 45-7671 FAX (0794) 45-7673